

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念が実践に反映しているかどうかを検討する機会を今以上に設けて、理念の更なる浸透を図る。	理念が日常生活に、実際にどう反映されているかどうか検討する機会を定期的に設ける。	現場のスタッフの普段の関わり方をヘルパー主任、ケアマネージャーが毎週行われているミーティング時に評価し、結果をjホーム長へ報告する。そして問題点を洗い出し、各スタッフへフィードバックして、改善に努めるようにする。	3ヶ月
2	10	利用者や家族の意見を今まで以上に聞く機会を設け、普段訪問の少ないが故にコミュニケーションの取りにくい利用者の家族に、より多く施設を訪問していただけるような機会を設ける。	利用者や家族の意見を外部の相談者へ表せる機会を設ける。	まずは月に2回訪問するアドバイザーの非常勤の看護師(当ホーム在職)に利用者や家族の意見をヒアリングしてもらおう。次に連携医療機関の訪問看護師にその役割を依頼し、協力していただく。	6ヶ月
3	36	仕事や精神面において、余裕を欠いた時に言葉かけがきつくなることがある。	一人ひとりを尊敬し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を常に心がけ、実施する。	日頃の実践の中で、管理者が指導すると共に、録画カメラを通して、普段の関わり方や接遇の在り方を振り返る機会を設ける。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。